

平成 27 年度第 1 回古賀市複合文化施設運営協議会会議録

会議名称：平成 27 年度第 1 回古賀市複合文化施設運営協議会

日時：平成 27 年 5 月 26 日（火）10 時 30 分～12 時

場所：古賀市役所第一庁舎 4 階第 2 委員会室

主な議題：①平成 26 年度事業報告について

②平成 27 年度事業計画について

③その他

傍聴者：0 名

出席者：加藤 典子委員 今橋 省三委員 松本 信一郎委員 草野 三保子委員

長野 素子委員 鈴木 章委員 松下 和正委員 河村 正彦委員

以上 8 名

欠席者：1 名（橋本由里委員）

事務局：長谷川教育長 吉村教育部長 力丸サンフレアこが館長 梅谷図書館長

金子歴史資料館係長 坂井図書館係長 図書館係水上 以上 7 名

配布資料：①レジュメ

②平成 26 年度図書館事業報告 平成 26 年度歴史資料館事業報告

③平成 27 年度図書館事業計画（案） 平成 27 年度歴史資料館事業計画（案）

④広報こが 5 月号 25 p 抜粋（図書館臨時開館概要）

⑤船原古墳遺物埋納坑のパンフレット

⑥第 2 回古賀市生涯学習笑顔のつどいのチラシ

会議内容：以下のとおり

各委員、事務局職員自己紹介

事務局よりマイクの説明

1 開会のことば

（事務局）：お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。平成 27 年度第 1 回古賀市複合文化施設運営協議会を開催いたします。委員の皆様には、今年度も継続して委員を引き受けていただいております。

2 教育長あいさつ

（教育長）：4 月 1 日付で荒木前教育長の後任として就任いたしました長谷川でございます。本日はお忙しい中集まっていただきありがとうございます。委員の皆さんは任期は 2 年目を迎えられたということで、今年度も 1 年間よろしくお願ひしたいと思っております。本協議会は、古賀市立図書館、歴史資料館の円滑な運営及び事業の進捗について委員の皆さんの御意見をいただいております。昨年度から仮称の生涯学習センター工事をしております。サンフレアこがも図書館の増床工事、空調の整備、LED への照明の転換などの工事が入り、休館せざるを得ないと思っております。そういう時期に、いろんな御意見をいただくことを非常にありがたく思っております。学校教育を預かる私といたしましても、図書館の閉館が半年近くありますので、学校

との関連を考えたいと思っています。学校現場に 3 月までおりました人間としては、市立図書館と学校のそれぞれ 11 小中学校の図書館が、連携しているようでしてない部分も感じておるところですので、これをいいきっかけにして、市立図書館と 11 小中学校が連携していければと考えています。結論については、教育委員会といたしましても学校教育課を中心に協議をしていきたいと思っています。約半年間、市民の皆様には御迷惑をかける工事が入りますけれども、その間どのように市民の皆様に教育あるいは学術文化をお伝えするか皆様の貴重な御意見をいただければと思っています。簡単ではありませんけれどもあいさつにさせていただきます。

(会 長) : 教育長におかれましては、この後の公務の都合により退席をされます。

3 会長あいさつ

(会 長) : 皆さんおはようございます。ご出席いただきましてありがとうございます。私ども委員 9 名中、本日は 8 名の出席ということで、残念ながら橋本先生には現役で大変お忙しい中にご出席いただけませんでしたけど、皆さんご出席いただきましてありがとうございます。私どもは委員として教育委員会から委嘱を受けておりますが、去年の 5 月から私と副委員長の加藤さん、委員長副委員長を務めさせていただいておりますけれど、その際に加藤副委員長のほうより単なる帳面消しにならないように、有意義なものにしようということで話をされたご記憶があると思いますけれども、そのつもりで私もやっています。委員会としてこの会をどのように評価されているかわかりませんが、その辺もぜひ委員会としてチェックして頂きたいと思っています。また、前回の協議会におきまして、議事録を速やかに作っていただきたいと要望いたしておりましたところ、早速に改善され、2 月の会合の後はすぐに議事録をいただきました。事務局の方には大変ありがとうございました。お聞きしますと他の会合でも議事録の作成はかなり遅れているようですね。そういう意味ではこの協議会は速やかに改善をしていただいていると思います。できましたらさきほどの教育委員会としての評価を、新しい教育長には初めてご出席いただきましたので、公務に支障がなければ、最後までご出席いただきたかったです。残念ながらご出席いただけてませんが、この協議会を充実したものにしたいと思っておりますのでどうぞよろしくいたします。

4 協議等

(1) 平成 26 年度事業報告について

(会 長) : これより協議に入りたいと思います。協議事項、第 1 点の平成 26 年度事業報告について、事務局にお願いいたします。

(事務局) : 図書館係から平成 26 年度図書館事業報告をさせていただく。4 月 19、20 日に第 19 回図書館まつりを実施した。「古賀東小学校ぐりとぐらの会」さんにおはなし会をしていただいた。福岡教育大学理科教育講座の伊藤先生をお招きして「やってみよう子ども科学実験」を開催した。視聴覚室でしおり作り、かんたん絵本作りなどお子さんの読書活動が推進されるような内容で実施した。6 月 6 日に「読書ボランティア入門講座」を行った。講師は上村篤子先生をお招きし「絵本の読み聞かせの基礎と読書ボランティアの心構え」として講演いただいた。27 日に「読書ボランティア入門講座おはなし会の小道具づくり 手袋人形をつくりましょう」として布の絵本作成ボラン

ティア「つくしんぼ」さんに御指導いただきながら手袋人形を作成し 23 名参加があった。7 月 20 日市内地域文庫 6 団体さんに参加いただき「おはなし会スペシャル」を開催した。視聴覚室で 90 名のお子さん、保護者の方に参加いただき盛況に終わった。7 月 30 日、8 月 7 日、8 日に「古賀市小中学校読書リーダー活動推進事業リーディングリーダープロジェクト」市立図書館研修を開催した。中学校区ごとにおはなし会をするような形式で開催した。9 月は熊本県立大学名誉教授の重松先生をお招きして「古典文学講座 百人一首の歌人たち それぞれの人生」と題し 3 回連続講座を開いた。毎年盛況な事業で視聴覚室で古典に親しんでいただいた。図書館まつり開催の直前に「大人のおはなし会」を「おはなし会昔っコ」さんに来ていただき開催した。10 月「第 20 回図書館まつり」を 24 日から 26 日にかけて開催した。「読書講演会」は、絵本作家の手島圭三郎さんをお呼びして開催した。「ブックコーティング講習会」を今回初めて開催し、本をコーティングするという作業を体験していただいた。「子ども図書館員」は小学生の生徒さんに応募いただき体験していただいた。除籍になった本を市民の方に活用していただく「ブックリサイクル」を行った。読書クイズ、川柳・標語、ことちゃんぬりえなどを行い、優秀者には図書券を配布した。3 日間図書館まつりを開催し、盛況に終わっている。12 月 21 日読書講座は「文学を取材する目」と題し西日本新聞社記者の塚崎謙太郎さんにご講演いただいた。視聴覚室で盛況に終わっている。1 月 31 日土曜日に古賀市親子読書会「第 46 回古賀市親子読書のつどい」を開催した。市内の 8 小学校の親子読書会の皆さんに、リーパスプラザ大ホールにてステージ発表、劇などをしていただき盛況に終わっている。3 月下旬に蔵書点検を行った。当初の予定では 3 月上旬に蔵書点検をする予定だったが、工事の関係で急きょ変更させていただいた。月例事業は、どようおはなし会、赤ちゃんおはなし会、小さい子のおはなし会、子ども映画会、名画会などを開催している。詳細は 8 月配布予定の要覧のほうで詳しくお話させていただく。名画会は今年介護支援課で実施した高齢者外出促進事業の対象で高齢者の方にたくさん参加いただき好評をいただいた。以上、平成 26 年度図書館事業報告を終わらせていただく。

(会 長) : ありがとうございます。引き続きまして歴史資料館係お願いします。

(事務局) : 歴史資料館係から、平成 26 年度歴史資料館事業は、自然史・歴史講座と企画展について報告させていただく。自然史・歴史講座は年間 5 回開催している。昨年度は NHK の大河ドラマ黒田官兵衛の放映にちなんだ学習を第 1 回と第 4 回に実施、船原古墳遺物埋納に関する学習を第 2 回と第 3 回で実施した。第 1 回講座は、5 月 21 日に「黒田官兵衛の軌跡をたどる」と題し、黒田官兵衛と長政親子の居城であった福岡城址と黒田家菩提寺の崇福寺を訪ね、黒田氏を通して福岡の歴史の一コマを学ぶ講座とした。第 4 回講座は「薦野増時の軌跡をたどる」と題し、郷土古賀を学ぶ講座として郷土の武将薦野増時にまつわる古賀市内の関連史跡を訪ねた。史跡の説明には古賀市史跡案内ボランティアさんの御協力もいただき、郷土の歴史学習を行うことができた。第 2 回講座は、6 月 1 日に福岡大学の桃崎祐輔教授をお迎えし「船原古墳群から出土した金銅装馬具と古代の国際交流」と題し船原から出土した馬具類の発見の意義と古代の朝鮮半島との交流について御講演をいただいた。サンフレアこが視聴覚室が会場で

125名の参加があり、立ち見の方もできるほどの大盛況だった。第3回講座は6月15日「さまざまな馬具を見てみよう」と題し、九州歴史資料館で船原古墳遺物埋納坑の発掘及び遺物調査にかかわった技術職員の講話とバックヤードツアーを体験いただいた。第5回講座は11月16日「歴代資料館長が語る資料館20年の歩み」と題し、初代館長の安武敏夫さんと第2代館長の石井忠さんをお迎えし、トークショーを開催した。歴史資料館20年の歩みを振り返っていただき、これまでの企画展を中心に回想しながらこれからの歴史資料館への期待などについてお話をいただいた。企画展については、年間2回開催している。第1回企画展は「ゴジラを支えたデザイナー 特撮美術監督井上泰幸展」を7月18日から8月31日まで、サンフレアこがギャラリーで開催した。井上泰幸さんのオリジナルの絵コンテなどの展示をはじめ、井上泰幸ご夫妻の人物像や郷土古賀とのかかわりに焦点を当て、広く皆さんに御紹介する企画展となった。実行委員会のみなさんやボランティアの方々の御協力も得て開催することができ、来館者数は5090名にのぼり大盛況に終わった。第2回企画展は11月14日から11月30日まで開館20周年特別展「企画展を振り返る 時を超え、そして未来へ」と題しサンフレアこがのギャラリーで開催した。過去20年間の企画展ポスターや資料などを抽出展示し452人の方に来館いただいた。歴史資料館の業務については、通年の活動として記載しているとおり。船原古墳に関する常設の展示コーナーを歴史資料館展示室の正面に新たに設置したことに伴い展示室内の展示資料の大幅な見直しを行い、レイアウトをより見学しやすいように変更を行った。資料館係からの御報告は以上。

(会長)：ありがとうございました。

(事務局)：文化財の26年度の事業の報告をさせていただく。平成25年3月に出土した船原古墳の調査については、平成26年度中新たな遺構が見つかった部分についても調査を行い鉄製の轡(くつわ)が発見された。平成26年度は墳丘(ふんきゅう)の再調査を行い、約42メートルほどの前方後円墳であったということで発表させていただいた。平成26年度船原古墳の遺構のパンフレットを作成し、遺構の模型を5分の1のサイズで作成した。模型は現在は九州歴史資料館にあるが今後歴史資料館に展示するのでご来館の時には見ていただきたい。文化財としての事業報告は以上です。

(会長)：ありがとうございました。図書館事業、歴史資料館事業、文化財係に報告いただいたが、これより審議に入りたい。図書館事業から進めていきたい。図書館事業の報告に対して、質問、意見ありましたらお願いします。

(委員)：講座事業等、お疲れさまです。参加者数は多いと思いますが、予想していたより多いか予想した通りか、理由と分析、そのあたりはどんなふうに見てらっしゃるかな思いまして。意識が高いとも思うんですが。

(会長)：図書館事業から、続けて歴史資料館にお願いしたいと思います。個別の部分と、相対的な部分があるかと思いますが、それぞれ事業の担当の方が受けとめておられる範囲で御報告いただければと思います。関連質問ですか。

(委員)：はい。

(会長)：では追加の御質問です。

(委員)：参加者数をお聞きになったと思うが、高齢者外出促進事業が今年導入されていてお

かげで名画会も参加者が多かったということだが、ほかの企画で高齢者外出促進事業のスタンプを押すという内容があったと思うので、わかる範囲で関連してお話が伺えるかと思っておりますのでよろしくお願ひします。

(事務局) : 参加者数の評価と名画会以外の高齢者外出促進事業の対象事業について答えさせていただきます。参加者数はサンフレアこが視聴覚室で開催する関係上スペースの問題がある。机椅子を置いて 100 名程度参加できるような状況になる。立ち見で 100 名を超え、座って講座形式で大体 60 名前後の 100 名以内である。文学講座や読書講座、講演会についてはこのあたりがちょうど良い人数と考えている。「やってみよう子ども科学実験」は、参加者数も多く急遽ロビーを活用した関係上 100 名を超えた。「読書ボランティア入門講座」のように布絵本制作など物をつくるような場合や「子ども図書館員」は定員数を決めている。指導者数によって受けていただく人数の上限を決めている。定員に達してもなるべく受けてもらいたいという願ひがあり、可能な限り受講していただくような方向を模索はしているがご了解いただければと思う。高齢者外出促進事業は名画会以外に大人のおはなし会、図書館まつりの中のイベント、読書講座を対象とした。大人のおはなし会、ブックコーティング、ぬりえ、川柳に参加したときにシールを配るような対応をした。高齢者外出促進事業のシールの効果は大変大きく、図書館にもかなり貢献いただきいろんな方に参加していただいたと思ひている。

(会 長) : 個別の評価や相対的な評価は一口では難しいと思ひますが、反省点、高齢者外出促進事業に参加した企画かどうか、予定通りの参加人数かなど、ある程度目に見える形で報告いただければと思ひております。関連しての御意見等よろしいでしょうか。ほかに何かございせんか。私からもう 1 点よろしいですか。歴史資料館事業の中で、歴史講座のバス利用の場合、少ないときは定員が 20 名以下、多いときで 30 名以下、バスの大きさによって参加する数が制限されておりますけども、20 名以下の小さい車のとき、参加希望者に対して少ないのではないかと思ひます。応募率が高いと思ひますので、できるだけ参加できるようにしていただければありがたいと常々思ひております。要望としてあげておきたいと思ひております。ほかによろしいでしょうか。

(委 員) : この間歴史資料館にぶらりと行ったときに、力丸館長がいらっしゃったので、色々説明していただいて、パンフレットの「科学的考察ってなんですか」って尋ねた時に、船原古墳のパンフレットに花粉分析とか昆虫分析とか書いてあって、子どもといるものからすると非常に興味深いことであって、子どもの科学的な学習会とか講座とかあるとうれしいです。私すごく興味をもったものですから、大人もすごく喜ぶかもしれません。説明をうけたときにすごく感心しましたので、よろしくお願ひします。

(会 長) : お願ひします。

(事務局) : 今パンフレットに載っておりますとおり、花粉であるとか昆虫であるとかリンとかカルシウムとか、科学分析を行うことによって、例えば、骨がないけども骨があったのではないかと想定される。衣服、布とかは土に混じってわからない状況だが今の科学技術だと土と一緒に取り出すことによって研究でき、遺構の部分の上に布が被せてあったのではというところまではわかってきている。出前講座は、もし子ども向けということであれば、文化財係で子どもたちにお話できるような形で出前講座等々に

は対応していきたいと考えている。以上です。

(委員) : 図書館の事業報告に古賀市親子読書会というのがあって、370名という数を伺ってすばらしいことだと思います。現在10代の少年少女が凶悪な犯罪を起こすような社会的な状況が生まれていますが、そういう時に人間らしさとか人間的な感性とか感動とかを取り戻させるために大事なものは、本を読んで空想しながら、自分の心の世界を育てるということです。情報化社会が進んでいけばいくほど、読書による豊かな心の世界をはぐくむ手助けをすることが大切となります。読書リーダー推進事業などがありますが、図書館だけの範囲だけではなくて、学校教育全体、青少年、人間形成全体の点からも頑張ってもらいたいし我々も一緒にできたらと思います。

(会長) : ありがとうございます。ただいまの御意見に対しまして事務局から何かございましたら一言お願いします。

(事務局) : 「親子読書のつどい」の件に関しましては、中央公民館大ホールで子どもたちも参加するが、1年間の親子読書の成果の発表なので保護者の方がたくさんこられて300名以上参加というような数字になっている。今インターネット、テレビ、DVDその他の情報機器、視聴覚が発達しており、本に接するという機会が子どもたちも減ってきているのではないかと。これから先も学校の協力を得ながらこういう行事をもっと盛んにできるように、頑張りたい。

(委員) : 先ほど船原古墳に関して質問されてましたが、日本全体めぐらしてもすばらしいものが自分たちの住んでいる近くで出土している。例えば小学校中学校で、歴史資料館の見学はどういった形になっているのか、毎年来ているのか。私が高校に勤めていた頃、古賀北中学校に出前講座に行ったことがあるんですよ。あのあたりに遺跡がありますという話をすると中学校の先生が非常に興味を持たれたということがありました。ある意味では教科書だけでなく実物を見るというのは歴史好きを育てる。これから先の子どもたちにとって教室で習うだけではなく現場に行って、実際に見る、手に触れることは非常に重要だと思うので、歴史資料館に行くシステムがあるのか、よろしくをお願いします。

(事務局) : 小学校中学校の見学は今年度1件、鹿部田淵遺跡と歴史資料館を見るということで受け入れている状況です。学校との連携は、毎年、4月の校長会のときに見学申し込みのご案内と、本年度は、船原古墳についての出前講座を小学校高学年向け、中学生向けの出前講座を社会科の歴史を学んでもらう機会として御紹介させていただいている状況です。また引き合いが9月ぐらいにあるんじゃないだろうかと思いますので、受け入れ等々につきましては随時行っております。以上です。

(会長) : ありがとうございます。追加で、はい。

(事務局) : 歴史資料館について参加数の評価について報告させていただく。自然史・歴史講座は第1回と第3回、第4回の講座については、バスの人数制限の関係で、参加数が決まる。決定数は40名ほどあったが当日キャンセルの方があり、記載の人数になっている。第2回の自然史・歴史講座、桃崎教授の船原古墳の講演会についてはサンフレアこがの視聴覚室で80名から100名程度の人数を事務局として予定をしていたが、それを上回る125名の参加で大盛況であった。第5回の安武初代館長と石井第2代館長の

トークショーは、参加者からはとてもよかったと大好評を得たが人数的には若干少なめで、今後 PR の仕方など検討し、より多くの皆様に出席参加いただけるようにやっていきたい。第 1 回企画展の井上泰幸展は予想をうわまわる 5090 人で大盛況だった。本当に皆様からもとても良い評価をいただき、実行委員さん、ボランティアの皆様からのご支援ご協力もいただき、とても良い企画展にできた。第 2 回の企画展は 452 人ということで、事務局としてはよく来ていただいた人数だと思っている。高齢者外出促進事業の対象については企画展は第 1 回第 2 回とも高齢者外出促進事業の対象とさせていただいている。これに伴い企画展の関連事業として実施した自然史・歴史講座、第 2 回の桃崎教授の講演会と第 5 回の初代 2 代館長のトークショーも必然的に高齢者外出促進事業の対象となっている。歴史資料館からは以上です。

(会 長) : ありがとうございます。先ほど小中学生向けの取り組み等質問があり御回答いただいたが、事業報告の中にもふれていただくとか、広報にも時々中学生の見学など報告がされてますけども、その辺を報告していただければ市民の方にもわかっていただけたと思いますので、よろしくお願いします。平成 26 年度事業報告につきましては他ございませんでしょうか。なければ、承認をいただける方挙手をお願いします。事業報告につきましては全員承認をいただきました。

(2) 平成 27 年度事業計画について

(会 長) : 続きまして 2 番目の平成 27 年度事業計画につきまして、それぞれ事業等順次お願いいたします。では図書館事業の方から。

(事務局) : 平成 27 年度図書館行事計画を説明する。本年度 4 月 5 月についてはこちらの計画でスタートしているが 4 月 25 日 26 日、子ども読書の日イベントとして 25 日「子ども読書の日のおはなし会」を開催した。「お楽しみ袋貸出し」は初めて開催した。1 つの袋に 3 冊本を詰めて、年齢別で赤ちゃん対象、小さい子対象、低学年、中学年、高学年、中高生向きという 5 種類の袋を 1 種類 10 袋 50 セットを作った。25 日 26 日で貸出しを行ったところ、50 セットすべて貸出した。特に赤ちゃん小さい子向けはとても人気があり、すぐ貸し出し完了した。「ぬいぐるみおとまり会」も初めて開催した。「ぬいぐるみおとまり会」はお子さんが大事にしているぬいぐるみを 1 日お預かりして図書館にぬいぐるみが一泊する、夜にぬいぐるみが、図書館を探検するというようなコンセプトで、写真を撮る。例えばぬいぐるみが集合して本を読んでいる姿とか、ぬいぐるみが暗い図書館内を探検するような場面を写真に撮り、ぬいぐるみが実際に読んでいた本を 1 冊ピックアップし、翌日お子さんが迎えに来たときその本も紹介する。大体のお子さんがぬいぐるみが読んでいた本を借りて一緒に帰ってくれるというような状況である。写真を撮ってお子さんごとに 5~6 枚の写真を 1 枚のフォトフレームみたいな形でラミネートしてお渡しするというようなイベントをさせていただいた。今回初めてだったがとても夢のある事業で大変ほのぼのするようなお子さんにとってもいい思い出になったのではないかと。26 日は子ども読書の日イベントとして「作ってあそぼう紙の工作」としてお子さんにギャラリーで数種類の紙の工作の体験をしていただきながら親子で体験していただいた。午後「子ども映画会」を開催した。25 日 26 日の人数は後日発表となるが、大盛況の子ども読書の日イベントを開催させてい

ただいている。5月6日水曜日「本と遊ぼう全国訪問おはなし隊」として財団法人文化産業振興財団がトラックに絵本をたくさん載せてやってきた。まずトラックの見学をしていただいてその後おはなし会をボランティアの方にさせていただくということで、こちらの方も大変盛況であった。6月7日「読書ボランティア養成講座」は講師に徳永明（はる）子先生をお迎えし「赤ちゃんおはなし会の大切さ～赤ちゃんに生きた言葉の喜びを」と題し講演をしていただく予定である。赤ちゃんおはなし会の読書ボランティアを養成したいという思いを込め開催する。現在もう30名を超える応募者いただいている。28日「読書ボランティア団体交流会」はアドバイザーとして引き続き徳永明子先生に来ていただき交流会をさせていただく。昨年度もボランティア交流会を開催したが、いろんな読書ボランティア団体の方に集まりいただいてフリートーク形式で班に分かれて課題などお話をさせていただいた。今回、アドバイザーの徳永先生をお迎えして、悩みごとなどお互いに話しながら解決をしていけたらと思う。図書館はいろんな読書ボランティア団体さんに支えられて行事をさせていただいているが、この機会に交流をさせていただければなと思っている。図書館まつりは例年10月だが、9月から工事に入る関係から、急きょ、7月に計画をさせていただいた。今年度は7月24日から26日の計画としている。現在イベントを計画しているが、既に決まっている内容としては26日に市内地域文庫6団体による「おはなし会スペシャル」を図書館まつり1番のイベントとして発表していただく予定である。その他イベント等決定次第紹介させていただきたい。8月夏休み子ども図書館員は未定になっているが、行事の兼ね合い、工事の関係等、9月から図書館が仮開館、臨時開館する予定の関係もあるので、日程の変更の可能性もある。9月の中旬から12月末まで図書館の仮開館する予定。場所は研修棟の105号室。詳細についてはまた後ほど説明をさせていただく。1月30日土曜日、「第47回古賀市親子読書のつどい」を開催させていただく。内容は未定だがリーパスプラザ大ホールで開催したい。9月から1月まで休館予定であるが、通常3月蔵書点検をしているところを閉館中1月下旬をめどに計画をしている。月例行事についてはどようおはなし会、赤ちゃんおはなし会、小さい子のおはなし会、子ども映画会、名画会等を行う。米印がついている赤ちゃんおはなし会小さい子のおはなし会ブックスタートについては、サンコスモ古賀を会場として活用することが決まったので1年間通年で活動したい。9月から1月まで、会場をおさえる兼ね合い、騒音の関係、いろんな方に来ていただく安全上配慮し、どようおはなし会、子ども映画会、名画会については休館中お休みする計画で検討している。図書館係からは以上です。

(会長)：ありがとうございました。続きまして、歴史資料館事業の説明をお願いします。

(事務局)：歴史資料館係から平成27年度の事業計画について御説明させていただく。自然史・歴史講座は昨年同様5回実施する予定。第1回講座は5月29日「古賀の歴史探訪小野の里めぐり」と題し、小野地区の史跡をめぐり学習する。ガイドを古賀市史跡案内ボランティアさんをお願いしている。バスの定員の関係上、定員を20名だったが28名の応募があり抽せんを行い参加者を20名決定している。第2回の講座は、6月7日に船原古墳関連の講演会を行う。「船原古墳の科学調査最前線」と題し調査に直接携わ

った九州歴史資料館の加藤和歳さんを講師にお迎えし、出土した馬具類の現段階での調査結果、分析方法、保存処理の技術や当時の歴史考察などについてお話しいただく。会場について、サンフレアこが視聴覚室と記載しているが古賀市役所の新庁舎 5 階の会議室に変更したので訂正させていただきます。第 3 回講座は企画展の関連事業として講演会を実施する。8 月 2 日「むかしむかしあったとき～民話にでてくる民具たち～」と題し、古賀市出身で現在吉富町で土屋ミニ子ども図書館「とんからりん文庫」という地域文庫を設立され、主宰を務める土屋富子さんを講師にお迎えし、民衆の心を伝える民話と民具について講演をいただく。第 4 回講座は、「夏休み史跡探検隊、子どもカメラマンが行く」と題し、小学校五、六年生を対象として実施する。古賀市史跡案内ボランティアさんの御協力をいただき、市内の史跡三ヶ所程度をめぐる予定である。子どもたちは説明を受けながら自分で史跡の写真を撮影して学習していただく。第 5 回の講座は 10 月 3 日に「長崎街道の宿場を訪ねて」と題し、黒崎宿から木屋瀬宿までをめぐる予定である。第 6 回講座は 11 月 29 日「よみがえる伊都国歴史浪漫」と題し、伊都国歴史博物館と糸島の史跡数カ所をめぐる予定である。今年度の企画展は「昔ばなしと道具たち」と題し、7 月 24 日から 8 月 30 日まで、サンフレアこがのギャラリーで展示を行う。各時代の民具を民話などを通して紹介する予定である。展示の期間中 7 月 29 日、8 月 7 日、8 月 23 日を予定しているが、この三日間については、大型紙芝居の上演を行う。古賀紙芝居サークル「カチカチ会」さんに御協力お願いし、民話などを題材にした大型紙芝居を上演いただく。資料館展示室内の展示は、船原古墳遺物埋納坑関連について、常設展示コーナーで九州歴史資料館からいただく調査の成果などに関する最新情報も引き続き展示したいと考えている。通年の活動として、資料収集整理活動について今年度はサンフレアこがの工事で閉館となる時期に地域の高齢者の方にお話を伺いに行ったり、古文書類を保存しておられる個人のお宅に伺って大切に保管してある資料について拝見させていただき、資料の確認をさせていただくという作業に取り組んでまいりたい。歴史資料館からは以上です。

(会 長) : 文化財係の方からありましたらお願いします。

(事務局) : 本年度の調査については、引き続いて、船原古墳について遺跡の調査を本年度実施し、遺跡の調査の概要をまとめていく予定である。遺物については引き続き九州歴史資料館の協力を得て調査を続けていく。本年度は船原古墳についてのシンポジウムを予定している。開催日時は調整を行っており、次回の委員会のとき報告をさせていただきたい。概要については以上です。

(会 長) : ありがとうございます。両事業と併せて文化財係の説明について御質問ございましたら、一括で進めたいと思います。どうぞ。

(委 員) : 図書館の平成 26 年度事業報告の読書リーダー推進事業に私もかかわらせていただいていた経験させていただいた。子どもたちが生き生きと頑張っている姿も見えました。古賀中学校区の子どもたちとかかわった時に、成果を見に来てくださいといわれたので朝の読書の時間おじゃまして、リーディングリーダーさんが生き生きと本の紹介をしている姿を見ました。ぜひ続けていただきたいと思います。と思っている事業なんです、今年度の中から、これが外されてるんです。去年は 7 月 8 月の夏休みを利用されたと

思うんですけど、今年度そういう事業は予定は全くないのかどうかお尋ねしたいと。

(会 長) : ただいまの御質問にお答えいただけますか。

(事務局) : 資料を郵送したのが 5 月の中旬だったと思うが、その時点では今回工事の兼ね合い、準備もあり、さまざまな契約が発生してくる兼ね合い上、対応ができかねる部分もあるのではという懸念があり、今回の計画からは、リーディングリーダーの部分を外させていただいていた。学校教育課とも協議した上で、難しいのでは、対応ができかねるのではと話をしており今回記入をしていなかった。しかしながら何か対応ができるのではとお互いの課で話し合ったところ、今計画中でこちらに記入はないのだが 8 月 5 日か 6 日リーディングリーダーさんの図書館内の見学の受け入れを予定している。昨年度はおはなし会、カウンター業務、体験も含めてリーディングリーダーさんを受け入れ報告に入れているが、今年は見学の受け入れということで、8 月の 5 日か 6 日に実施をする方向で現在検討中。また 8 月の第 5 週の土曜日、通常職員でどうはおはなし会をやっているが、リーディングリーダーさんたちでおはなし会を発表する枠として活用してはどうかということで調整中。詳細については確定していないので、この中に報告はしていなかったが、経過としてお伝えしておく。以上です。

(会 長) : ただいまの回答でよろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

(副会長) : 図書館の行事計画案について、図書館まつりは図書館の中でとても大きなイベントだと思うが、なぜ図書館まつりをするのかというと、より多くの方に本に親しんでもらう、または今その図書館というのは本が好きで来館する方が多いんですけども、読書の幅が広がり深まることを目的にしているものと私は思っています。読書イベントが未定になっているが、今予定されているぬりえとかしおりとか、小さいお子さんにとっては、図書館に来る興味を引くきっかけになるかもしれないが、もう少し大きな中高生や一般の方にとって図書館がより魅力的なものになる、読書がより身近になり深まっていくようなイベントがあるといいなと思います。ビブリオバトルとか、読書会とか、自分も何回か経験したが、ビブリオバトルに関して言えば、ほかの人がおすすめする本を聞く、自分も自分のおすすめの本を人に紹介するという意味で、コミュニケーションをとるという意味でも非常に有効ですし、思いを持って紹介してくださる本については非常に興味を持ってこっちも聞くことができ非常に有効だなと思います。中学校でも試みたんですが子どもたちも楽しんでやっていたようなのでこういうイベントをやったらどうかと思っています。図書館には、新刊が次々と入ってきて、比較的図書館を利用する私でも本当にこんな本知らなかったっていう本が本当にいっぱいあるんですね。そういう本を図書館の司書の方々から紹介する機会があるといいと思っていたんですが、ビブリオバトルや読書会みたいな形を利用して、図書館のほうからも、こんな新刊が出ましたという紹介とか PR にもなるんじゃないかと思っています。御検討いただければと思います。以上です。

(会 長) : ただいまの提言につきまして何かコメントがありましたら。

(事務局) : 現在図書館まつりのイベントを検討している中で、加藤委員さんからも出たような読書会や読書カフェなどの話も実際はあがってきた。7 月に開催する兼ね合いもあり準備の部分で大変期間が短いためビブリオバトルも含めて準備も十分にした上で今後

も検討していきたい。一つ決まりつつあるのが「押し花でしおりをつくろう」というイベントを検討しているところ。いろんな層の方に体験していただきながら読書活動のほうにつなげていけたらと思っている。

(委員)：今読書会の話が出たのですが、これはかねてから私があつたらいいなと思っていたものです。50代60代という仕事が終わった方はいろんな活動があるのですが、高齢者だからといってスポーツのレクリエーション的なことばかりではなく、精神的なこと知的なことでもしたいと思うのです。かねてから関心があるのは、「広報こが」で掲載されていた社会人の方主催の読書会です。カフェでいろんな本を持ち寄って読書会をされてるのをご存知ですか。どんな内容ですか。

(委員)：「古賀すたいる」の代表がやり始めて、いろんな喫茶店を会場としながら本を紹介する読書会で、フェイスブックで紹介すると北九州などから来られるみたいですけど、自分の好きな本を紹介しあって、和気あいあいと楽しい。カフェなので飲み物を注文する楽しさもあるんじゃないか。カフェ式って最近はやってますよね。楽しいです。

(委員)：例えば50代以降の大人向けに、2階のフロアで部屋を提供していただいて、市民の活動を図書館の中に連携する、取り込む、協力し合うような大人のための読書会があつたらいいですね。高齢化社会で福祉の面からも良いことです。図書館は場所を提供するだけで、企画まで全部される必要はないのです。協働、コラボというか、私たちが参加できるような読書会があつたら素晴らしいです。今すぐでなくても結構ですけど、そういう方向も検討していただければと思います。

(会長)：提言ありがとうございました。はい、お願いします。

(事務局)：古賀市では子どもの読書活動に関してはボランティアさんが一生懸命していただけてかなりレベルが高い活動が行われているんじゃないか。図書館のあり方も、今まで本を貸す、図書館で本を読んでもらうというような形の公立図書館だったと思うが、これから先、公立図書館のあり方としては市民に対する支援、行政の支援、企業への支援、就労の支援とさまざまな支援のための図書館でなければならないというように方向性が変わってきている。高齢者の方、中高年の方が、いかに本に親しまれる機会をつくるか、というのも図書館の使命ではなかろうかと思っている。これから先、そのようなことが古賀市の公立図書館でもできるように、工夫をしながら図書館職員一生懸命考えていきたい。いろいろな情報があつたら提供していただきたいし、我々も一生懸命勉強して、これから先、そのような方向性の中で、古賀市の公立図書館の運営を考えていきたい。

(会長)：ありがとうございました。今図書館事業について主に活発な意見をいただいていますけど、他に何かございませんか。どうぞ。

(事務局)：船原古墳のシンポジウムを予定とのことで、非常にたくさん来られるんじゃないかと思うんですけども、具体的にはどういった規模で考えてらっしゃるのか。シンポジウムとか、少し予算をかけてでも大きなことにしていただけたら実のあるシンポジウムになるんじゃないか。現在とどういった形で考えられているかお願いします。

(事務局)：シンポジウム関係については、リーパズプラザの大ホールをメインで考えている。定員800名で、大きなところでやろうというふうに考えている。パネリストについては、

指導委員会の先生、大学教授など今考えているところ。詳細については今先生に打診中の状況です。次回には大体詳細な部分、先生が決まって日にちも決まってという形でお知らせできると思う。

(会 長)：現段階ではそこまでということで御了承ねがいます。ほかにございませんでしょうか。私のほうから 1 点、図書館事業を充実させていくには、おはなし会などのボランティアグループの方の貢献度はものすごく大きいと思う。実は昨年、ボランティア団体向けの県の福祉事業、文化事業助成金の制度がありまして、県で 30 団体の中の 2 団体が古賀市から選ばれて、これも図書館事業にかかわる団体だったと思います。活動をすればいろんな経費もかかるし、助成事業等あれば行政からぜひ紹介していただければと思いますので、お願いしたい。何かございますか。

(事務局)：いろんな団体からの補助金のお知らせを図書館としても有効に活用いただくため読書ボランティア団体に御案内を差し上げているところ。市民活動支援センターの方からも補助金などの御案内もあり、並行して窓口がたくさんあるのでご活用いただき、図書館事業に貢献していただければと思う。

(会 長)：平成 27 年度事業計画につきまして、採決したいと思いますが、よろしいでしょうか。ただいまの事業説明につきまして承認いただける方挙手をお願いしたいと思います。ありがとうございました。全員賛成という形で、御承認をいただきました。

(3) その他

(会 長)：その他について、事務局のほうでありましたらお願いします。

(事務局)：図書館係より説明する。図書館休館のお知らせという記事を広報 5 月号の 25 ページに掲載した。前回の協議会のときにも、休館、仮会館の説明をさせていただいたが、概要を市民の方々にはこの内容で広報をさせていただいているということで御承知おきいただきたい。今年度はサンフレアこがの工事がある。現在 9 月の着工に向けて現在契約の準備を進めているところ。次回の 8 月の協議会のときには詳細をお知らせできるのではないかと。今年度予算について図書館では増床工事に伴う予算が組まれている。増床によりスペースが広がることから書架やソファなどを購入する予定としている。AV コーナーと新聞雑誌コーナーのところが奥に広がり、AV コーナーの移設に係る工事費が発生する。閉架書庫から閲覧室のほうに図書資料を出して郷土行政コーナーやレファレンスコーナーの充実に努めるので、全体数をふやすというわけではなく、予算としても図書資料については例年と同じ予算を請求している。図書館システムの更新が今年度 5 年の契約期間を満了して更新の時期となり、2 月のリニューアルオープン前に更新を実施する予定なので併せて報告をさせていただく。図書館からは以上です。

(会 長)：ありがとうございました。歴史資料館の方をお願いします。

(事務局)：歴史資料館係から、閉館中に行うサンフレアこが全体の空調設備の改修工事、及び電気設備の改修工事について御説明させていただく。空調設備の改修について、1 階図書館の閲覧室及び 2 階歴史資料館の展示室は、現在熱源が灯油となっている。これを今回の改修工事において電気式に変更することになる。1 階 2 階の事務室や 2 階の視聴覚室、ギャラリーは、現在も熱源は電気式となっているが、サンフレアこがが開

館した 21 年前からのものであり、経年劣化が進んでいることから、今回すべて新しく改修する。熱源についてはすべて電気式を予定している。電気設備の改修工事について、照明器具は現在の蛍光灯照明をすべて LED に切りかえる。工事の日程については現段階では未定。8 月の次回には御説明ができるものと考えている。空調設備、電気設備工事の改修についての説明は以上です。

(会 長) : ありがとうございます。図書館歴史資料館両館から連絡事項がありましたけど、何か御質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。施設の改善などの話がございました。ありませんか。以前の会議で LED についての問題提起がありましたけども、今一般的に LED は効果があるという評価で進んでおられるということで、何かそのことについてございますか。お願いします。

(事務局) : 委員の方から御指摘があり検証を行っている。LED のほうが照明として節約という部分では秀でており古賀市としても LED を推奨しているので、こちらのほうで工事をさせていただきたい。以上です。

(会 長) : ありがとうございます。ほかございませんでしょうか。ほかに事務局よろしいですか。ございませんか。なければ委員の方からその他の関連で、どうぞ。

(委 員) : 少し前のことで、ちょっと時間も過ぎて恐縮なんですけど、平成 21 年にこの協議会が発足して、当初古賀市の複合文化施設の指定管理者制度の導入について古賀市の行政からこの協議会に諮問がなされておりました。この協議会で協議して、指定管理者制度をやっぱり導入すべきだという意見もあったけど、協議会の総意として、なじまないということで、答申案をこの協議会で協議したように記憶しております。そこでちょっとお尋ねしたいのが、その後、答申書が出されたのかどうかですね。私ちょっと見てない、知らないんですよ。もし出されたとしたら行政がどの機関でどのような協議検討がなされたのか。最終的に古賀市としては、指定管理者制度を導入するかしらないのか。決定されてるのかどうかをちょっと聞きたいと思っております。

(会 長) : 事務局にお尋ねします。答申書が出されたのかどうかということとその結果、出されたということであればその結果という形で、お願いします。

(事務局) : 平成 21 年度中に行った指定管理者制度への導入の検討については、当初、第 3 次古賀市行財政改革の中で図書館歴史資料館公民館等の指定管理者制度の導入の検討について平成 19 年当時調査研究を行って欲しいと依頼があった。平成 21 年度、複合文化施設運営協議会に諮問され、平成 22 年 1 月 20 日皆様に協議いただいた内容で当時古賀市複合文化施設運営協議会村山会長の名前で、サンフレアこが小金丸館長あてに答申を出していただいた。内容としては指定管理者制度は図書館については制度的なものはないという答申をいただいた。この内容を受け平成 22 年 4 月に古賀市教育委員会に付議事項としてかけさせていただいている。教育委員会は複合文化施設運営協議会の答申の中身を踏襲し導入はないと結果を第 3 次行財政改革委員会に提出されている。古賀市としてもそれを受け入れ、教育長も、議会から質問を出された際にも、この答申を受けた内容でなじまないという方向で答弁していただいている。

(会 長) : はい、ありがとうございます。答申されて結果もでたということです。委員会のほうに報告が無かった、お聞きされていなかったということですが、結果出ていると

ということで、今御報告いただきましたとおりです。ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

(委員) : 1点だけお尋ねしてよろしいですか。平成27年度4月1日に地方教育行政法の改正が施行されているが、古賀市の場合は改正に伴って何か変更があったのか、委員長と教育長が委員会中で両立するとか、古賀市の場合は余り関係なかったのか、古賀市の状況とか問題点とかあったらお聞きしたいと思います。

(事務局) : 教育委員会制度の改革については、法律の改正が今年の4月1日で施行されている。古賀市では長谷川教育長がその法に基づく新教育長ということで就任されている。従来であれば、教育委員会には委員長がいらっしゃった。新制度においては委員長と教育長一本化、新教育長が長谷川教育長ということで、今現在は委員長がいないという状況になっている。また大きな点としては総合教育会議を開催するというので市長が招集して教育長、教育委員さんと会議を開催し、今後の大きな教育の方向性の大綱を定めることとなっている。6月下旬に会議を開催し、今後の4~5年程度のスパンの教育行政の方向性の大綱を定めることと予定している。問題点はこの新制度となってスタートしたばかりなので今後見守りながら問題点等あれば是正していきたいと考えている。以上です。

(会長) : ありがとうございました。古賀市においても、4月1日から法改正に伴って制度変更しているということで受けとめてよろしいですね、ありがとうございました。もう時間になりますが、委員の方向かございませんでしょうか。

(副会長) : お手元の古賀市生涯学習笑顔のつどいのチラシをごらんください。今度の日曜日になっております。生涯学習とは一人一人の学びもあるが、古賀市が考える生涯学習とは一人一人の学びが横につながったり縦につながったり、また地域の中でその学びをお互いに高めあうことを古賀市の生涯学習と考えている。活動の一環として、行政区で活動されている分館長さんや区長さんとともに市民活動をしている団体とがお互いにつながり合うのを目的として、笑顔のつどい第2回を開催いたします。アトラクションと実践報告の団体が決まっております。古賀市の中で活発に意欲的に活動している団体の活動報告になりますので、時間がありましたら御来場ください。以上です。

(会長) : つたない進行でしたが、たくさんの御意見発言ありがとうございました。これで終わらせていただきます。最後に今月9日に、前教育長、荒木教育長の講話がありまして、現役の学校の先生方、市の教育関係の職員の方もたくさんおいでになっておりまして、教育行政の裏話大変興味深く聞かせていただきました。できれば現役のときに聞かせて頂きたかったと思いましたが、なかなか現役のときには話できないようなことがあると思います。大変有意義な話を聞かせて頂きましたので、また教育長さんの考え方も聞く機会がありましたらぜひお聞かせいただければと思っておりますのでお願いしまして、これできょうの会議を終わらせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。